



～「楽しくよくわかる授業がしたい。」「保護者と共に子どもに向き合っていきたい。」「明日の授業のためにこそ時間をとりたい。」と願う先生方へ～

■参加費 一日1000円・半日500円

学生無料

・はじめの会 10:00～10:25

「学級で楽しめる遊びと歌の紹介」 音楽教育の会

・現場教師たちのシンポジウム 10:30～12:15

「子どもや親と結びつき、厳しい職場に希望を見いだす」

昼食（ご持参ください）12:15～

・授業づくり分科会

①13:00～14:20

②14:30～15:50

共同主催：埼玉県教職員組合青年部

埼玉サークル協議会

後援：埼玉県高等学校教職員組合

協賛・連絡先：さいたま教育文化研究所

048-831-4266

明日にいきる

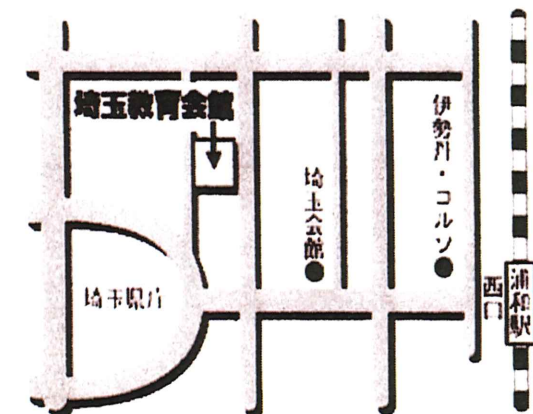
授業づくり学習会

○5月2日（土）

○9時30分受付 10時～16時

○埼玉教育会館

（浦和駅西口より、県庁前を右折、100M左側）



分科会の日程と内容

	① 13:00~14:20	② 14:30~15:50
一 〇 一	英語（新英語教育研究会） 「英語教育は会話中心に変えたほうが良い」と考える人が多い。文科省は2020年から小学校に英語科を導入しますが、英語をきちんと教えらるあてはありません。今年は、広く考え、子どもたちに「英語を学ぶ喜びを」「遅れがちな子どもに学力を」をテーマに大きな社会問題となっている英語教育全般を話し合います。レポーター：池田真澄（新英語研究会会長）	社会（歴史教育者協議会） 社会科の授業をつくる時、大切にしたいことはどんなことでしょうか。子どもたちは社会科の授業を通してどんな力をつけていくのでしょうか。社会科の授業づくりについて考えます。
一 〇 二	高校教育課程 国語・社会 （高校の教育「科」課程を考える会） 2022年実施の高校の新しい指導要領によって、とりわけ国語と社会は大きく改変されようとしています。その問題点を検討し、新しい科目・教科書を通して、高校生のことばの力や考える力をどのように育てていけばいいのか、考え学びあいたいと思います。	食教育（食教育サークル） 給食が始まりましたが、給食指導にお困りではありませんか？子どもたちのよりよい育ちをうながす子どもも先生も楽しい給食の時間について考えてみませんか？栄養職員、栄養教諭だけでなく、いろいろな立場の方と給食について語り合えるとよいと思います。
一 〇 三	小学校・中学校の学級集団作り （生活指導研究協議会） 「黄金の3日間」でがんじがらめにされた子どもたち、そんな中で課題がはっきりしてきた子どもたち。どう受け止めて学級集団づくりを進めるか、真の成長を促す見通しをもった実践の方向性を学びあいましょう。	体育（学校体育研究同志会）
一 〇 四	国語・算数の学力 （学力の基礎をきたえどの子も伸ばす研究会）略称「学力研」 新出漢字の指導法（理解と習熟）と、声に出して読む音読のしかたについて、資料をもとに報告します。	道徳（楽しい道徳の授業をつくる会） 「教科書教材はこう扱おう！」提起：貝田 久 教科書教材でも、扱い次第でとても楽しく充実した授業ができます。もちろん学習指導要領にある「現代的な課題」「解決に寄与しようとする意欲や態度を育てること」「主体的・対話的で深い学び」「議論をする道徳」などをふまえての授業づくりです。また「充実した教材の開発や活用」についても例示・紹介します。
二 〇 一	子どもの表現に深く関わってきた3つのサークルの合同分科会（埼玉作文の会 新しい絵の会 日本生活教育連盟） 作文の会…子どもたちに生活を見つめる力を育てる ～日記や詩を通して～ 絵の会…生活を見つめて描くということ ～子どもたちの作品から考える～ 日生連…子どもの思いを表現する ～音楽を通して～ それぞれのサークルが大事にしている「生活を見つめる」「子ども理解」をより深められるような話し合いをしたいです。	
三 〇 五	理科（科学教育研究協議会） 「物の溶け方」5年 どのように授業を進め、どのように実験をすれば対話的で深い学びになるのか、具体的に実験をしながら話をしたいと思います。	国語（児童言語研究会） 今年はふじみ野市の大山友紀人先生が光村六年文学作品「やまなし」（宮沢賢治 作）の作品分析、授業づくり、授業報告をします。大山先生は新任から5年目に入ります。一読総合法による国語の授業づくりは生活指導でもあり、学級づくりと一体です。これこそ「真」のアクティブラーニング（子ども主体）です。意見表明・話し合いもバッチリです。